



通常総会を開催しました



(平成23年より任期2年)につつましてもご審議・ご承認いただき、新年度が正式にスタートとなりました。(なお、新役員は、岡井理事長他、全員再任となりました。)

これまで、日光公民館で総会を行うケースがほとんどでしたが、今回は観光協会のご協力で、郷土センターで開催させていただきました。当NPOでは、「まちを使う」ということを意識した事業展開を図っておりますが、今回の取り組みが、ささやかではありますが、市民の皆様、郷土センター他、まちなかの施設の有効活用への契機となれば幸いです。

本年度も、あらためまして、NPO法人日光門前まちづくりへのご理解、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

事務局長・小池秀明

去る7月6日(水)、日光郷土センター(御幸町)において、平成23年度の通常総会を行いました。

日光市より阿部副市長様、山越市議会議員長様、日光土木事務所より斎藤整備第一課長様、各自治会長様他、関係各位の皆様にもご臨席いただきました。総会では、平成22年度事業報告及び収支決算報告、平成23年度の事業計画及び収支予算について、また新役員

おかげさまでNPOが5周年を迎えました!

当法人は、2006年9月に「NPO法人日光東町みんなのまちづくり」として設立いたしました。「東町まちづくり規範」の実行主体として、このような組織の必要性を確認されての事でした。R119号の拡幅事業と街並景観についてはもちろん、国交省の社会実験事業や広場等の活用、おもてなしなど大小さまざまな事業に取り組み、この紙面の他記事に掲載の通り、現在も活動しております。皆様から支えられてのまちづくり活動も5周年を迎える事ができました。初心に帰り、今後も日光のまちづくりに励んで参りますので、宜しくお願いいたします。

名称と活動範囲の変更を致しました

「日光東町みんなのまちづくり」は2006年9月の活動開始以来、5年に渡り大小様々な活動を行ってまいりました。ご存じの通り、当法人の組織化の契機は、東町地区のメインストリートの整備事業と、それに対する「日光東町まちづくり規範」に因るところでございましたが、昨年度、これまでの活動を継続しつつ次なるステップを目指すべく、下記の通り名称の変更と共に、活動エリアを拡げることいたしました。

新名称：「NPO法人 日光門前まちづくり」

これからの活動エリア：社寺周辺地区(東西両地区を主とする)

運用：2010年7月1日より

上記は昨年度開催しました総会にて議案提出し、可決されました。東町地区は、西町地区、山内地区と共に、合併した広大な日光にあって、まちづくりの中心として「日光」を牽引していく責任と義務があることは、歴史的、地理的に見ても明らかであると考えます。したがって、活動の「区切り」と共に、これまで日光の中心的役割を果たしてきたこの社寺周辺地域に活動のエリアを拡げることいたしました。今後ともよろしくお願いたします。

NPO法人日光門前まちづくり 役員一同

ごあいさつ

このかわら版の発行も久しぶりとなりましたが、皆様に昨年現在までの活動状況をお知らせすべく発行いたします。3月の震災を経て、一層「まちづくり」や「地域コミュニティー」は見直されるところであります。人との繋がりやお金に換算できない地域資源は、その土地にしか醸成できません。日光の街もこれまでとこれからを見直してみる必要があるのではないのでしょうか。メンバー一同、仕事や家業の合間を縫っての活動スタイルを取っておりますが、少しずつの力を結集してこそこの「まちづくり」であると考えております。是非とも私どもの活動に参加・参画いただければと思います。よろしくお願いたします。

理事長・岡井健

龍の街路灯がマロニエ建築景観賞を受賞しました!



松原町に設置された龍の街路灯が昨年度(22年度)のマロニエ建築景観賞の景観部門において建築景観奨励賞を受賞しました!これからも地域で大切にしていきたいと思います。

裏面で昨年度の活動・取り組みを紹介しています!是非ご覧下さい

日光の避暑地の頃を学ぶ講演会を開催しました

7月6日(水)19:30~郷土センターにて日光まちづくり講座vol.3「近代観光地日光のDNAについて話しをしよう」と題した講演会を開催しました。

福田和美氏を講師としてお迎えし、避暑地としての日光の歴史を探るものでした。約40名程の参加を頂きました。日光市内はもちろんの事、宇都宮や東京方面からもご参加いただき、福田先生の研究成果や避暑地としての日光への注目度の高さ、興味の深さが伺えました。講演は途中休憩をはさみ3時間に渡るロングラン。(休憩時には冷たい麦茶で一息つきました)

昨年度の「ニコウ・ミエルカ・プロジェクト」の一貫として組み立てており、当初は昨年度内の開催を予定していたこの企画ですが、震災が影響しこの時期の開催となりました。折しも「避暑地日光の再考」が求められている所かと思えます。国内でも早くから避暑地として注目を集めていた日光。交通の利便と、押し寄せた人の波。それと外国人たちの求めた涼と風景。そのギャップからまちが「避暑の楽しみ



」と離れていく結果となってしまったという歴史背景があるそうです。福田先生は、これからを考える上で、観光と「深み」を考える。新しい観光立国時代の日光は、先人達の残した「遺産」を「資産」に変えて面白い町、尽きることない物語のある懐の深い町、謎のある町、魅惑する町、人たらしの町へと進化できるかが鍵になるだろうと仰っていました。この講演を契機に何らかのアクションに繋がる事を期待して、また私たちNPOも活動して行こうと思えます。

おもてなし企画、継続中!この秋も開催!



お手伝いや、お菓子の提供もいたしております。ありがとうございます。

毎年、観光で訪れるお客様が増える時期に開催している、おもてなし企画は続けております。震災以降、観光産業の落ち込みは指摘される中ですが、少しでも



「また来よう」の気持ちをお土産にいただければと考え、これからも開催します。日光の美しい秋に向けて、皆様のご協力をお願いいたします。

来年の弥生祭展の準備をはじめます!

毎年開催している(ここ2年はお祭りに併せ休年)「弥生祭展」を来年も開催いたします。これに向けた準備を進めていきます。一緒にこの企画を盛り上げてくださる方を募集しております。是非この機会にご参加、参画ください!!「こうしたらどうだ」というアイデアや「うちの町内のこれ貸してもいいよ」という有難い申し出もお待ちしております。※打合せの日程等は、お近くのNPO関係役員・スタッフまでお問い合わせください。ブログ等でもお知らせしていく予定です。



ほんやりしてるとあと半年!!

世界文化遺産地域連携会議が発足!参加致します!

去る6月6日に東京千代田区の都道府県会館にて発足会が行われ、当法人からは理事長岡井が出席いたしました。世界文化遺産に登録されている地域の連携を目的とした会議。①各地域、方面での理念、ノウハウ、情報などの共有と相互活用。②世界文化遺産に対するより広範な支援の獲得。③「無理のないゆるやかな連携」の中で、地域自ら様々な共同事業を形にしていける事。以上のような意義の基に設立されました。以前にも同様な会議が立ち上がったものの、行政のみの連携だったために持続が困難になり残念ながら解散した事もあるそうで、今回は各地域で活動している民間の団体・組織や各方面の専門家も参加しての会議としたそうです。このような会議に当法人も推挙頂き光栄です。京都市長が会長に、斎藤日光市長が副会長に就任しました。これからの連携・活動に注目です!

青龍くん、
twitterにて

つぶやきなう!

ID: seiryu_akira
フォローお願いします

ホームページとブログはこちら▼

ホームページ → <http://www.npo-nikko.jp/>
ブログ → <http://www.npo-nikko.jp/blog>



●このかわらばんに関するお問い合わせ、ご意見・ご感想、記事についての情報などは、お気軽に表面の事務局までご連絡下さい。